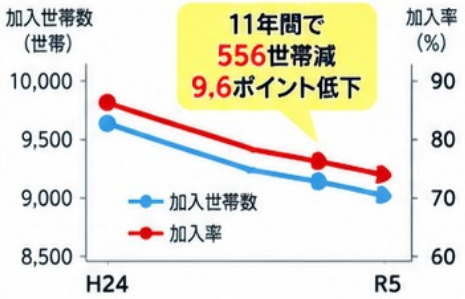
平川市の町会の現状と課題 ～担い手不足と運営見直しの必要性～

1 町会の現状

町会数・加入世帯数・加入率はいずれも減少

町会数	62町会	(R5.4.1現在)
加入世帯数	8,979世帯	(11年前より556世帯減)
加入率	73.2%	(11年前より9.6ポイント低下)

加入世帯数と加入率の推移(イメージ)



2 主な課題

役員のなり手不足・高齢化

同じ人が繰り返し役員に
高齢化がさらに進む



役員の負担が大きい

・募金などの集金活動
・市からの依頼業務が多い
・行政の事務処理や専門知識が必要な場合もある



住民の関心の低下

・近隣関係の希薄化
・仕事で時間がない
・活動がマンネリ化
・若い世代の参加が少ない



プライバシーの問題

転入者の情報が分からず
会員の実態把握が難しい



3 人口の将来見通しと限界集落

高齢化の進行で、今後さらに
町会運営が厳しくなる見込み。

人口の年齢構成比率(推計)

65歳以上	36.8% (令和12年)	↑
15～64歳	51.5% (令和12年)	↓

限界集落の見通し

このまま高齢化が進むと、
令和12年には
34の行政区が限界集落になる
(市長の答弁)



※限界集落とは
人口の50%以上が65歳以上となり、
コミュニティー機能の維持が困難な集落。

4 町会費の状況

町会によって費用に大きな差があり、
高い町会費も町会離れの一因に。

平均	最少	最大
11,546円	1,800円	60,000円

(参考) 弘前市の平均 7,964円 (最小0円・最大36,000円)

5 未加入者との不公平感

町会未加入者も、ごみ集積所を利用するなどの現状に、加入者の不公平感が高まっています。



6 町会が解散した場合の影響

町会が解散すると、市民生活や行政サービスに大きな影響が出るおそれがあります。

- 広報紙・回覧板の配布停止
- ごみ集積所の管理が困難
- 集会施設の利用制限(有料化)
- 民生委員の推薦困難 地域福祉の低下
- 自主防災組織の解散 災害時の支援が困難
- 町会要望の機会がなく行政サービスが低下

7 一般質問での主な質疑応答(要旨)

質問 役員のなり手が不足している原因は?
市の回答 役員の負担が多いことが主な原因です。



質問 役員の負担が多い原因は?
市の回答 市からの依頼事項が多いことが主な原因です。



質問 負担軽減の方策は?
市の回答 市からの依頼業務の見直しを検討しますが、引き続き町会の協力をお願いしたいです。



質問 集金活動は1回にまとめられないか?
市の回答 市と社会福祉協議会で時期の調整を検討したいと考えます。



質問 町会費のばらつきは?
市の回答 町会ごとに規模や管理する施設が異なるため、やむを得ないと考えています。



質問 統合・再編の必要性は?
市の回答 必要との意見は8.8%と少なく、歴史的要因等で難しいという意見が多いため、市が強く進めることはしません。



8 議員の主張・提案



- 募金などの集金活動をできるだけ1回で済ませる仕組みづくり
- 市からの依頼業務の見直し、行政の仕事は行政に戻す
- DXの活用による事務の簡素化
- 町会費や各種寄附の在り方を再検討
- 町会の大切さを広く周知し、地域の意識を高める

9 今後の方向性

**町会運営の負担を減らし、
地域コミュニティーを守るための
具体的な対策と見直しが急務です。**

